

3：よくできている、2：おおよそできている、1：あまりできていない、0：まったくできていない
評価できない・・・空欄

		児童 評価	保護者 評価	教職員 評価	教職員評価の理由		
主体的・対話的で深い学 び	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践	2.5	2.1	2.1	・自らがどのように学ぶのかを日々の授業から意識づけさせることを目指している。 ・日々の学習で、めあての提示の仕方など、導入を工夫したり、友達同士で考えを深め合う時間があり、子どもにもその学習形態が馴染んできている。 ・支援級では、個々に応じた学習を工夫している。		
	協働する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善（ICTの活用含む）	2.5	2.2	2.3	・国語科において、どうすれば教科書を何度も読みたくなるか、考えながら読めるかを考えて発問している。		
	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会の実施			2.1			
道徳教育の充実	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施	2.7	2.1	2.5	・命や人権を大切に指導は、日々の生活の中でも、その時々に応じた話を行っている。 ・いじめを許さないという点について学級内で厳しく線引きし、児童も理解して友達と接している。 ・クラスでの困りごとや気になることをクラス全員で話す活動に取り組んでいる。 ・学年で交換授業をして道徳の授業を行なった。それぞれのクラスの実態がわかり、担任同士で振り返りが行えた。教材を研究する機会も増えた。道徳の学習内容を通信で知らせたり、全学級で道徳参観を実施したりした。		
	ものごとを様々な視点からとらえ考えさせる道徳科の授業・評価に関する研究			1.9			
	保護者等への道徳科の授業公開		2.1	2.0			
体力づくり	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善	2.4	2.1	2.2	・体を動かす機会を増やすために、体育だけでなく、委員会発信の行事なども盛んにおこなっている。 ・体育科の学習について内容や場作り、ワークシートを使った実践をしている。 ・元気学級では朝の会や隙間時間に、体を動かすピジョントレーニングを取り入れている。 ・マイペースランニング月間や縄とびへの取組等、全校的に行っている。 ・日々の授業や休み時間から積極的に運動しようとする児童が多い。		
	体力づくりを推進する運動実践			2.3			
	生涯にわたって健康を保持増進し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2.4	2.1	2.4			
指導改善（組織的・計画的）	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善	2.6	2.1	2.2	・行事の精選や資料の共有、ICTの活用など、教育の質をできるだけ下げずに、働き方改革につなげる取り組みを行っている。 ・経験がない若手教員に対して、他の教員の授業を参観する等、組織的なフォローの必要性がある。 ・二期から教科担任制や交換授業を進めたことが良かった。 ・滋賀マイタイムラインやバッカー車見学、性教育、統計の授業、宿泊体験の事後授業等、出前授業をたくさん活用できたので、専門の方と出会うことで子どもたちの学びが深まった。 ・学年・学校全体で協力してよりよい学びを目指すことができていると考える。		
	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上			2.3			
	働き方改革の取組と教育活動の質の改善			2.1			
育ちと学びを支える連携	① 家庭・地域との連携・協働	子育てや家庭教育に対する 保護者への積極的な支援			2.3	・ボランティアの方に学習の補助をしていただく場面がたくさんあった。 ・地域とのつながりを委員会活動や総合的な学習の時間を中心に行うことができている。	
		保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用	2.6	2.4	2.4	・連絡帳のやりとりや通信を通して、子どもの成長のため保護者と連携している。 ・定期的に避難訓練を実施しており、その時に災害のエピソードを話すなど防災意識を高めている。 ・4年生では助産院からの出前授業を行っていたが、大変良い経験になった。	
		防災教育・感染症対策等の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	2.6	2.1	2.3		
② 保幼小中の連携	子どもの校種間交流や教員の出前授業				2.5	・生活科の秋祭りや、次の1年生の5歳児を招待することで、2年生（上級生）になる意識を高めることができた。 ・5.5交流では5年生と保育園・幼稚園の園児との交流を通して小さい子への接し方を学んだ。 ・仰人教の部会研修において校種間での実践を交流・共有することができている。 ・特別支援級において、保幼や中との連携をしっかりと取っている。	
	校種間の授業公開や合同研修会				2.1		
	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究				1.9		
組織的体制の充実	① 生徒指導体制の充実	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導	2.6	2.1	2.5	・職員全体がいじめを見逃さない姿勢でいる。 ・何か起こった時には、学校全体で共有し、組織的に対応に当たる体制が出来上がっており、事後のケアについても行うことができている。 ・子どもの様子について学年内や打合せで積極的に交流している。 ・生徒指導について、子どもの姿をすべて把握することは難しいが、なかなか見えていない部分があるのではないかと心配することもある。 ・気になる子どもの姿を保護者に定期的に伝え、情報交流を積極的に行うよう心がけている。	
		生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進				2.5	
		家庭・地域・関係機関との連携による指導				2.3	
② 特別支援教育の充実	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用				2.4	・特別支援学級はもちろんのこと、個別の指導計画を立てて、子どもにあった支援の方法を保護者と共通認識しながら日々の教育を行っている。	
	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立				2.4	・スクールカウンセラーなど、必要に応じて連携することができている。 ・児童への指導の仕方について、いろいろな人と相談し、対応している。多くの特別支援学級の児童に対して、丁寧に対応して、保護者や地域との交流も積極的に行っている。	
	関係機関と連携した相談体制の充実				2.4		
学校満足度	児童生徒の学校満足度	2.5	2.3	2.3	・学習への取組、遊びの参加などを見ていると、満足しているように思う。日々、課題に応じた適切な指導を行っていきたい。 ・ほとんどの児童が元気に登校し過かしているが、授業に入らず、飛び出す児童もいる。丁寧にに対し、少しずつ気持ちもちが落ち着き、教室へ入れるようになってきている。		

学校関係者評価	
学校関係者評価	評価の理由
2.7	・参観で拝見する限り、近くの人と話し合う場面では躊躇なく集まり、自ら意見を出す姿がよく見られていた。 ・対話のためには、聞く（聴く）ことの習慣も大事だと感じた。 ・聞くことを大切にすることで、自分の思いも表現できるようになるのだと思う。 ・互いが相談する授業や、自分で考えを発言・発表する形の授業もあり良いと思った。
2.3	・道徳の学習では、正解はないという事を伝えた方がいいのじゃないかと思う。教科の学習では、学びのゴールがあるから正解を伝えて終わってしまうのかもしれないけど、道徳では、内容的にそうは言っても難しいよねというところもある。そのことも伝えつつ、でもこの場面ではこうするのが人としてあるべきだよ、優しい世界になるよね、と子ども達自身が感じていけるようにしてほしい。 ・道徳の評価の仕方に関する研究や研修は必要であると思う。 ・参観日に道徳の授業を見せることは続けるよと思います。
2.6	・運動会を見させていただきましたが、子どもたちの元気な姿を見ると、こちらも元気をもらいます。 ・運動会以外にも子どもたちの発案で運動に親しむ活動があり良いと思います。 ・以前の様にマラソン大会があると応援し甲斐があると思いますが、安全面から難しくなっているのでしょうか。 ・縄跳びをしている子どもを見ることがありますが、みなさん上手に楽しく跳んでいます。体力づくりにもつながっていると感じました。
2.6	・先生方にはお忙しい中ではあるが、研修等を通してスキルアップを目指してほしい。 ・小学校は担任の先生が全部の勉強を教えてくださいと普通だと思っ ていましたが、中学校のような「教科担任制」があることを知りました。たくさんの先生が子どもに関わってくださることはいいことだと思います。 ・学校以外の力を借りて子どもの学習を進めてくださることもあるようで、さらに進めることで、先生方の働き方改革になるといいなと思いました。 ・忙しい学校運営の中で、これからも少年補導の活動を利用してほしいと思っています。
2.9	・防犯教室や薬物乱用防止教室を学校の協力により行うことができた。 ・地域の方が学校でよく関わってくださるので、皆さんに育てていただいと 感じられます。 ・子ども達も地域の方を受け入れ喜んでるように思う。地域の代表として数回参 観に参加させていただき、子どもたちの様子を知ることができたが、幹事だけでなく 補導員全員が普段の様子を見せていただける機会を増やしていただけるとありが たいと思います。 ・PTAに参加する家庭が減っていますが、意義のある活動だと思います。活動のス リム化は必要ですが、登下校の安全においては簡単にやめないよう、学校側からも しっかり説明して下さるようお願いいたします。 ・先生からすぐに連絡くださったり、相談にのってくださったりと、昔と違いオー プンなイメージがします。
2.7	・小学校からみんなで中学校の説明会に行くのは、進学を控えた子ども達にと って安心できると思います。 ・年長児が小学校と関わりを持つことは、小学校に憧れを持つことができ て大切だと思う。 ・小中の連携や交流を積極的にできるとよい。 ・5.5交流はスムーズに小学校生活を始めるにあたってありがたい。
2.7	・いじめは絶対あってはならないことだが、先生方の見過ごさない姿勢を 大切にし、子どもを守ってほしいと感じています。 ・細かいことも連絡をくださいます。親としてありがたいことです。 ・些細なことでも子どもの話を聞いてやってほしいと思っています。 SOSを発信している子どもに寄り添って欲しいからです。 ・担任の先生だけでなく、たくさんの先生が子どもに関わってくださ っている様子を感じます。ありがとうございます。
2.6	・特別支援学級の子どもさんを理解する教育がなされていると聞きました。 これからは社会に出て行く子どもたちにとって、非常に大切なことだ と感じました。 ・相談したいときにスクールカウンセラーさんという窓口があるのはあ りがたいですが、どのような方なのか紹介があると相談しやすくなる と思います。
2.6	・学校がとても楽しく大好きな様子が我が子からよくわかるから。 ・登校してくる子供の姿を見ると、みんな元気そうに見えますが、途中 で遊んでいた、なかなか門をくぐれなかったりする子も見るこ とがあります。そのような子が減っていきなことを願っています。